平成26年度
主要事業説明資料

◇～健康文化都市の新たなステージへ ～　（Ｐ１）
～心と体の健康　地域と社会の健康　都市と自然の健康～

◇主要プロジェクト
１　健康チャレンジ！！すまいる運動　to　NEXT STAGE　（Ｐ４）
～袋井発！市民健康ライフスタイルプロジェクト～
～科学的健康増進プログラム開発事業～
２　歩いて楽しいまちなかプロジェクト　（Ｐ５）
３　地産地消おいしい給食推進事業　（Ｐ６）
４　子どもが輝くまちづくり事業　（Ｐ７）
５　地震・津波から命を守る袋井市の取組　（Ｐ８）
６　公民館のコミュニティセンターモデル事業　（Ｐ９）
７　高品質農産物の海外輸出とブランド化戦略　（Ｐ10）
８　袋井駅南まちづくりプロジェクト　（Ｐ11）

◇主要事業一覧　（P12）

袋 井 市

～ 健康文化都市の新たなステージへ ～

新：新規事業　拡：拡充事業

～心と体の健康～

これまでに取り組んだ主要施策

健康づくり推進	●中東遠総合医療センター開院 ●聖隷袋井市民病院開院 ●総合健康センター整備事業 ●健康づくりサポートチーム事業 ●健康チャレンジ!!すまいる運動（健康マイレージ制度） ●各種予防接種事業 ●各種がん検診ほか各種検診事業 ●国保特定健診ほか健康診査事業 ●未熟児養育医療給付事業 ●介護予防教室事業 ●新総合体育館整備構想策定着手 ●クラウンメロンマラソン（シティマラソン新コース設定） ●食育推進事業
子育て支援	●認可保育所新設（愛野こども園・袋井あそび保育園等） ●認証保育所制度創設 ●子ども支援トータルサポート事業 ●子ども医療費助成事業 ●幼児期からのスポーツ活動推進事業 ●虐待予防事業 ●特定不妊治療費助成事業
教育環境の充実	●教育支援事業「レインボープラン」開始 ●中部学校給食センター開設、地産地消の推進 ●食物アレルギー対応食提供開始 ●放課後児童クラブ整備事業 ●障害児放課後児童クラブ運営事業 ●ワンコイン・スクールプロジェクト立ち上げ ●農を活かした授業づくり事業 ●学区再編による新高南小学校開校 ●静岡理工科大学との包括連携協定締結 ●芸術とふれあうまちづくり事業

方向性

- ●生活習慣病対策強化・医療費削減
- ●歩き＆自転車の推進
- ●切れ目のない健康支援確立

- ●切れ目のない子育て支援
- ●保育と子育ての質向上
- ●発達支援サポートの充実

- ●教育の質向上（35人学級推進支援）
- ●学力向上
- ●国際理解教育推進

新たなステージへ　～さらなるステップアップ～

“健康づくり施策の充実へ”
高齢化社会を見据えた推進体制

- 新◆袋井発！市民健康ライフスタイルプロジェクト（茶効能、メタボ改善）
- 新◆科学的健康増進プログラム開発事業（筑波大学久野譜也教授協力）
- 新◆歩いて楽しいまちなかプロジェクト（都市空間創出計画策定）
- 拡◆サイクルタウン推進事業（指針策定、シンポジウム開催、自転車通勤推進）
- 新◆総合健康センター整備事業（健康指導センター・健康支援センター開設準備）
- 新◆休日急患診療室開設・聖隷袋井市民病院療養病床開設
- 拡◆健康診査・検診受診率向上及び個別保健指導強化
- 新◆新総合体育館整備事業（PFI民間活力の検討）

“子どもが輝くまちへ”
子ども・子育て支援の充実

- 新◆地産地消おいしい給食推進事業（組織強化、生産者連携）
- 新◆子どもの学力向上事業（推進校での授業改善、学力調査、委員会協議）
- 新◆「（仮称）刮目子ども塾」創設
- 新◆たんぽぽ第2保育園新設事業（民間認可保育園新設）
- 新◆子ども・子育て支援事業計画策定
- 拡◆子ども支援トータルサポート事業
- 拡◆教育支援事業「レインボープラン」（小学校ALT派遣増員）
- 拡◆放課後児童クラブ整備事業（浅羽北小余裕教室活用）
- 新◆彫刻のあるまちづくり事業

生活習慣病対策強化
歩いて楽しいまちを目指す
健康支援施設の充実

教育・保育の質向上
学力向上
きめ細かな教育環境整備

新：新規事業　拡：拡充事業

～地域と社会の健康～

これまでに取り組んだ主要施策

防災・減災対策	●袋井市独自津波シミュレーション公表 ●木造住宅耐震化事業 ●県内初　平成12年5月以前建築無料耐震診断開始 ●県内初　住宅耐震化促進事業訪問活動開始 ●家庭内家具等固定推進事業・借家への補助開始 ●臨時災害放送局用FM装置配備 ●避難所等落下防止対策事業 ●液状化被害軽減対策事業 ●津波避難施設「タワー」「湊命山」整備事業 ●自主（連合）防災隊資機材整備事業 ●広域的地域間共助推進事業（塩尻市） ●鯖江市などとの災害時相互応援協定締結 ●岩沼市との防災交流都市協定締結 ●岩沼市技術支援職員派遣 ●ICTを活用した街づくりプロジェクト（物資供給） ●災害に強いまちづくり事業（災害危険度判定） ●治水冠水対策事業（高尾第1幹線・油山川改修） ●小・中学校施設耐震化事業 ●幼保・小中学校防災教育推進事業 ●女性消防隊発足
パートナーシップ	●パートナーシップによるまちづくり事業（地域防災対策会議） ●豊沢ふれあい会館整備事業 ●特色ある公民館づくり補助事業 ●協働まちづくり事業 ●市民活動普及事業（ふらっと機能支援） ●新緑トーク開催 ●浅羽東、三川地域協働バス運行開始 ●河川・海岸愛護事業（負担軽減策開始） ●誇れるふるさとの川づくりプロジェクト開始 ●袋井フロンティア農園プロジェクト開始 ●おみやげ開発プロジェクト ●スクールガード事業 ●地域まちづくり支援事業（川井・上山梨地区） ●協働によるみちづくり事業

方向性

●情報伝達・避難施設整備促進
●地域防災力の（自助・共助）強化
●治水対策

●人口減少・高齢化社会を見据えたパートナーシップの推進
●地域特性を活かしたコミュニティモデル形成
●市民の国際交流推進

新たなステージへ　～さらなるステップアップ～

“防災先進都市へ”
防災・減災対策の着実な推進

新◆津波避難施設「平成の命山」整備事業（3施設）
新◆津波防災地域まちづくり推進計画・原子力災害時広域避難計画策定
新◆ブロック塀等耐震改修促進事業（津波避難困難地域等100%補助）
拡◆災害時の最適な情報伝達整備事業（同報無線デジタル化）
拡◆家庭内減災対策推進事業（耐震シェルター新規対象）
新◆消防・救急デジタル無線共同整備事業（基地局整備）
新◆豊沢地内防災多目的広場整備事業
新◆防災キャンプ体験事業（子どもの避難所生活体験事業）
拡◆治水冠水対策事業（高尾放水路、太郎兵衛新道国本線冠水対策）

実効性のある防災計画策定
情報伝達の多様化・最適化
地域防災力（自助・共助）強化

“地域と女性が輝くまちへ”
市民と行政のパートナーシップの推進

新◆公民館のコミュニティセンター化モデル事業（浅羽東・三川地区）
新◆コミュニティセンター運営事業（豊沢ふれあい会館）
新◆浅羽北地区まちづくり検討事業
新◆グローバル市民育成・交流事業（日越・日中・日米市民交流）
新◆市内で活躍する輝く女性支援事業
新◆市制施行10周年記念事業（記念事業実施に向けた準備）
新◆袋井宿開設四〇〇年記念事業（記念事業実施に向けた準備）
拡◆誇れるふるさとの川づくりプロジェクト（簡易浄化装置設置拡大）
拡◆河川・海岸愛護事業（草刈り機購入等支援拡充）

市民の国際交流促進
女性が輝くまちづくり
市民力を活かしたまちづくり

新：新規事業　拡：拡充事業

～都市と自然の健康～

これまでに取り組んだ主要施策

産業（農工商）振興	●山科東工業団地「朝日インテック㈱新工場」稼働 ●㈱武蔵野東海工場稼働 ●㈱タジマモーターコーポレーション進出決定 ●内陸フロンティアを拓く取り組み・総合特区指定 ●静岡県東京事務所職員派遣 ●中小企業販路開拓支援事業（展示会出展等支援） ●産学官連携推進事業（研究開発助成金等） ●静岡理工科大学との包括連携協定締結【再掲】 ●個店の魅力アップのための「個店セミナー」開催 ●クラウンメロン品評会in静岡市 ●6次産業化促進支援事業 ●学校給食地産地消推進事業（コーディネーター）
観光振興	●ふくろい観光ルネッサンス事業着手 （ふくろい観光ブランド推進） （ニューツーリズム商品企画創出） （健康文化観光担い手育成） （ほっとな町並み景観創出） ●日本の観光・物産博2013台湾出展 ●ふくろい特産品宣伝隊支援事業 ●特産品開発等事業費補助
魅力ある都市形成	●袋井駅南北自由通路新設及び橋上駅舎化着手 ●上山梨第三土地区画整理組合設立 ●新総合体育館整備構想策定着手【再掲】 ●「みつかわ夢の丘公園」整備 ●自転車を活かしたまちづくり研究実証事業 ●橋梁公園長寿命化計画策定 ●津波避難施設「湊命山」完成（健康の丘） ●通学路安全対策事業 ●生活バス路線確保対策事業 ●ICTを活用した街づくりプロジェクト（QRコード活用） ●農を活かしたまちづくり推進事業 ●新エネルギー施策推進事業（公共施設屋根貸し含む） ●「みんなでチャレンジ」今夏の節電・ごみ減量大作戦 ●資源ごみ拠点回収事業開始

方向性

●産業転換イノベーションの促進
●農業改革に対応した取組
●地産地消推進

●遠州三山観光資源の最大活用
●外国人観光客誘致の推進

●袋井新駅をまち再生の起爆剤に
●平時と非常時を考慮した施設づくり
●ストックマネジメント推進

新たなステージへ　～さらなるステップアップ～

“成長産業の立地・育成へ”
企業誘致と6次産業化の積極的な推進

新◆ICTを活かした強い農業育成事業（ふくろいeねっと、ICT導入セミナー）
拡◆6次産業化推進事業（ロシアへのお茶輸出拡大、台湾での物産展出展）
拡◆農産物のブランド化促進事業（クラウンメロン・米・茶のブランド化）
新◆温室代替エネルギー支援事業（木質ペレットボイラー等制度拡充）
新◆ビジネスイノベーションコンサルティング事業
新◆地産地消おいしい給食推進事業【再掲】
拡◆ふくろい観光ルネッサンス事業（遠州三山魅力創出・門前活性化）
新◆お店の魅力アップ応援事業（個店巡り・うまいものマップ）

“未来へつなぐ魅力あるまちへ”
賑わいのある快適な都市空間の創出

新◆歩いて楽しいまちなかプロジェクト【再掲】
拡◆袋井駅南北自由通路新設及び橋上駅舎化事業、南口広場整備事業
新◆袋井駅南都市拠点土地区画整理事業（H26組合設立）
新◆新総合体育館整備事業（PFI民間活力の検討）【再掲】
新◆津波避難施設「平成の命山」整備事業（3施設）【再掲】
新◆彫刻のあるまちづくり事業【再掲】
拡◆みつかわ夢の丘公園整備事業
拡◆資源ごみ拠点回収事業
新◆公共施設Wi－Fi設置事業
新◆公共交通最適化研究事業（静岡理工科大学共同研究）
新◆公共施設マネジメント事業

成熟産業のイノベーション支援
強い農業基盤への転換加速
国内外への観光誘致強化
駅周辺のまちづくり再生
魅力的都市空間の施設づくり
持続可能なまちづくりを意識

健康チャレンジ!!すまいる運動　to NEXT STAGE

平成5年、旧袋井市での『日本一健康文化都市』宣言。
合併後、市制5周年の平成22年度、『日本一健康文化都市』宣言。
健康づくり事業を強力に推進し、健康を文化とし、市民運動化を目指す『健康チャレンジ!!すまいる運動』も9年目となる。
あらたな健康づくり施策への布石として、市民が気軽に健康づくりに取り組むための効果を分析する『袋井発！市民健康ライフスタイルプロジェクト』に取り組むと共に、今まで蓄積された本市の健康増進事業を分析・評価することにより、課題を明らかにし、健康増進事業のステージアップを目指す『科学的健康増進プログラム開発事業』を実施する。

予算額

袋井発！市民健康ライフスタイルプロジェクト　５８５万円
① ふくろい発!!茶れんじ健康プロジェクト　505万円
② ふくろい発!!チャレンジ　メタボ脱出運動プロジェクト80万円
科学的健康増進プログラム開発事業　１，１３７万円

袋井発！市民健康ライフスタイルプロジェクト

ふくろい発!!茶れんじ健康プロジェクト

事業の目的

「糖尿病が強く疑われる人」（HbA1c（NGSP）値6.5%以上）の割合が高いことから、お茶の成分（カテキン類）に「血糖値上昇抑制効果」があるとされていることを踏まえ、より効果的な糖尿病予防対策の推進を目的として、白茶・黒茶を用いて効能調査を行う。

事業の概要

白茶（はくちゃ）50人・黒茶（こくちゃ）50人が毎日500mlのお茶を摂取、事前・中間・事後の3回に血液検査を実施、結果比較により血糖値上昇抑制効果を確認する。
【対象者】 HbA1c（NGSP）値5.6%以上6.5%未満（いわゆる境界型）で服薬治療をしていない人100人
【期　間】 3か月間（平成26年9月～11月予定）

ふくろい発!!チャレンジ　メタボ脱出運動プロジェクト

事業の目的

本市では、筋肉づくりと有酸素運動を中心とした運動を推奨してきたが、より効果的に進めていくため、「メタボリックシンドローム予備群」を対象とした運動教室において、筋肉づくりと有酸素運動が血液データに及ぼす影響について効果・検証を行う。

事業の概要

昼グループ・夜グループ（各25人）が、筋肉づくりと有酸素運動を組み合わせたメニューを教室と家庭で毎日取り組む。事前・事後の2回の血液検査と体力測定結果の比較により、血糖値や中性脂肪等の上昇抑制効果などを確認する。
【対象者】 40歳以上のメタボリックシンドローム予備群やメタボリックシンドローム該当者50人
【期　間】 3か月間（平成26年6月～9月予定）

科学的健康増進プログラム開発事業

事業の目的

先進地を自負する本市の健康増進事業について、専門的な知識を持つ第三者により、これまでの実績や成果等からの評価、現在の課題を明確にし、目標達成のための適正な指標設定を行う。
健康づくり計画（後期計画）の目的は、「生活習慣病の予防と介護予防の推進による健康長寿の実現」であり、さらに大きな目標は「健康寿命の延伸と医療費の削減」である。
本事業は、日本一健康文化都市を目指す本市の健康増進事業がさらに飛躍するよう、ステージアップすることを目的とする。

事業の概要

【筑波大学　久野譜也教授指導の第三者機関によるコンサルティング】
◆科学的健康増進プログラム開発事業委託
・健康増進事業における課題抽出と地域特性の分析
・「健康寿命の延伸と医療費削減の実現」のための指標設定業務

歩いて楽しいまちなかプロジェクト

〔背景〕高齢化の進展に伴い、医療費や介護給付費の増加が深刻な社会問題となる中、生活習慣病対策として予防を重視した実行性ある施策の推進が重要である。

〔概要〕『歩く』ことは、健康増進に極めて有効であるとともに、地域経済や社会活動を活性化することも期待できることから、市民の生活習慣への一層の定着を推進するため、歩く視点から見た環境づくりと都市空間の充実を図る。
まずは、袋井駅周辺の市街地をモデルに、旧東海道や原野谷川、袋井駅南北自由通路、さらには、駅南開発による新たな都市機能等の地域資源を最大限活用し、『歩く』を核とした市民の健康づくりと“まちなか”の賑わいが融合する取組を推進する。

予算額　5,000千円
（計画策定に要する経費）

日本一の健康文化都市を目指して
～“歩く”を核としたまちづくりと健康文化の定着に向けて～

目指せ!! 医療費削減

心と体の健康

自助　個人の主体的な健康づくりの取組

◎健康への理解を深め価値観を転換
→科学的・医学的裏付けによる推進
→健康志向を高める動機付け
◎「歩く」きっかけづくり
→新たなインセンティブの導入
→“e－すまいる”の活用促進
◎「歩く」習慣化へのアプローチ
→楽しく歩くための仕掛けづくり
→保健・医療・介護＋教育の連携

◆糖尿病の発症予防と重症化の解消
◆医療費・介護給付費の抑制

都市と自然の健康

公助　市民の健康を支える環境づくり

◎「楽しく歩く」都市空間の創出
→歩いて楽しいまちのビジョン策定
→街路ポテンシャル（健康づくりとの接点）の向上
◎歩行者・自転車優先の環境づくり
→歩行者・自転車・公共交通のネットワーク化、移動の連続性向上
→歩行者、自転車に優しいエリア設定
◎公共空間がもたらす快適性の追求
→「歩く」ための都市機能の集約化

◆安全安心で「歩きたくなる」まちの創出
◆市民に親しまれるまちの実現

地域と社会の健康

共助　個人の取組を支える地域活動

◎地域経済・コミュニティの活性化
→歩行空間と商業圏との相乗効果
→人と人との絆の醸成
◎低炭素社会の推進
→緑化推進、自動車依存の解消によるCO_2排出削減
◎市民・企業・行政の協働による取組
→事業所と連携した健康づくり運動
→徒歩・自転車通勤者への優遇制度

◆市民のQOL（生活の質）の向上
◆地域社会の活性化

袋井駅周辺を健康で快適な空間モデルに！

平成26年度の取組

◆(仮称)歩いて楽しいまちづくり戦略ビジョンの策定
「歩く」施策の現状と課題を明らかにし、「歩いて楽しいまちづくり」の目指す姿や目標、推進方策等を示す。

◆(仮称)歩いて楽しいまちなか整備計画の策定
袋井駅を中心に半径約1km圏内をモデルとし、“まちなか”を楽しく歩くための具体の環境づくりと都市基盤整備に向けた計画づくり。

◇庁内にプロジェクト会議を設置し、「歩く」を核とした各種施策・事業を総合的に推進する。

袋井市総合計画

（仮称）歩いて楽しいまちづくり戦略ビジョン
（仮称）歩いて楽しいまちなか整備計画

- 科学的健康増進プログラム
- サイクルタウン推進事業
- 袋井宿開設四〇〇年記念事業
- 誇れるふるさとの川づくりプロジェクト
- 彫刻のあるまちづくり事業
- 袋井駅南北自由通路新設事業
- 袋井駅前観光案内所設置事業
- 駅南都市拠点土地区画

〔歩いて楽しいまちづくりの基本的な視点〕
① 安全で安心な歩行環境の整備
② 自然・歴史文化等の地域資源の有効活用
③ 環境に配慮したコンパクトシティの形成
④ 多様な交流機会の創出

【事業工程】
・H26年度　「(仮称)歩いて楽しいまちづくり戦略ビジョン」の策定〔9月〕
　　「(仮称)歩いて楽しいまちなか整備計画」の策定〔12月〕
・H27年度　第一期整備事業着手　～H31年度
・H32年度　第二期整備事業着手

地産地消おいしい給食推進事業

事業の概要

◆市内3カ所の学校給食センターを統括し、学校給食に関する企画を立案する「おいしい給食推進室」を新設して、生産者の顔が見える安全・安心な地場産物の使用割合を高める取り組みを推進します。
◆地産地消コーディネーターとの連携により、市内産野菜を中心とした地場産物の計画的かつ安定的な学校給食への供給システムを構築します。
◆生産者と子どもたちとの交流を図る「ふれあい給食会」の開催など、子どもたちの市内産野菜に対する理解と愛着を育み、食育指導の充実を図ります。
◆学校給食を通した市内産野菜の情報提供や、保護者参加の「生産現場の見学会」等を通して、市民への市内産野菜のPRや理解促進を図ります。

予算額

地産地消おいしい給食推進事業　６１２万円

事業の背景

◆袋井市では、教育の基本理念である「心ゆたかな人づくり」に繋がる食育を地産地消を軸に推進している。

◆本市の農業生産を安定的に持続するために、担い手の育成、農地の有効活用、販路拡大が求められている。

◆全国のモデルとなる最新の施設である中部学校給食センターの稼働に伴い、地場産野菜を積極的に使用できるようになった。（平成25年９月から）

◆学校給食地産地消コーディネート委託業務により、市内産野菜を計画的かつ安定的に学校給食に供給できるシステムの構築の取り組みをスタートした。（平成25年度から）

事業の数値目標

市内産野菜の使用について

	H24		H25見込み		H26目標
◆主要10品目の重量ベース	13．8%	→	21．4%	→	23%以上
◆使用食材数ベース	10．4%	→	11．0%	→	12%以上

事業の効果

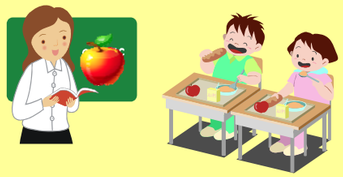
◆新鮮で，安全･安心な市内産野菜を学校給食に安定的に供給することができる。

◆子どもたちの市内産野菜への理解と愛着が深まり、食育がさらに推進される。

◆学校給食への供給システム構築により、市内生産者の意欲向上につながる。

◆市内産野菜に対する市民の理解と需要の広がり、消費の拡大につながる。

食育指導の充実



幼稚園から
中学校まで
12年間の給食を通した食育

ふれあい給食会

市内産野菜のPR 理解促進

学校給食を通して保護者に
・市内産野菜の情報提供
・市内産野菜を使った献立の提案

保護者も参加した
市内生産現場の見学会

【新設】おいしい給食推進室

安全・安心で
おいしい給食の提供

- 中部学校給食センター
- 袋井学校給食センター
- 浅羽学校給食センター

袋井市標準献立（年間の献立の予定）

月ごとの野菜の使用見込み量や
生産見込みに関する情報提供

学校給食地産地消コーディネーター

情報提供　作付け依頼　栽培指導

市内産野菜の生産者・生産者グループ

生産者

生産者グループ

市内産野菜の流れ

市場

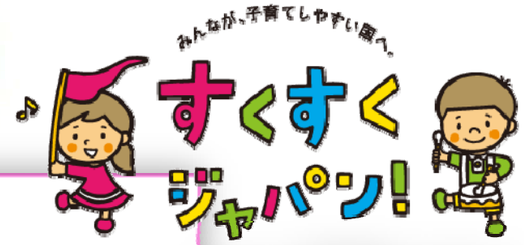
納入業者

農協

供給システムの構築

市内集積所

子どもが輝くまちづくり事業
～心ゆたかな人づくり～



「子ども・子育て支援新制度」シンボルマーク

次代を担う子どもたちの成長を社会全体で支援する取り組みを、さらに充実させるとともに、子育て世代が安心して子どもを産み、子育てができるように教育環境及び保育環境の充実を図ります。

〈事業の概要〉
①子どもの学力向上対策事業
学校における授業改善や教員の資質向上をはじめ、教育環境の改善や
教育施策の見直しなどを推進し、家庭・地域と連携して小中学校の子ど

〈事業の概要〉
②「（仮称）刮目（かつもく）子ども塾」創設
地域の子どもの育成を目的として、地域で見守り、学び、育てる教育を実践し、多くの体験や多くの人との関わりを学び、次代を担うたくましい若者を世に輩出するため、「（仮称）刮目子ども塾」を創設します。

〈事業の概要〉
③たんぽぽ第2保育園新設事業
待機児童の解消を目的に、増加傾向にある保育需要に対して、平成27年
4月開園予定の民間認可保育施設の建設支援を行い、保育サービスの

〈事業の概要〉
④子ども・子育て支援事業計画策定
平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立し、市町村では子ども・子育ての市民
ニーズを把握し、その結果を踏まえ、給付・事業の需要見込量、提供体制の確保方策

予算総額 1億457万

中学生↑小学生↑未就学児

1 子どもの学力向上対策事業

予算 354万円

H26の取り組み
◆全国学力・学習状況調査活用委員会の設置
◆袋井市学力向上アドバイザーの設置
◆授業改善推進校の設置
◆「わかる」授業研修会の実施
◆袋井市学力向上推進委員会の設置

市民参加型の開かれた委員会とし、袋井から新たな取組を発信する。

2 「（仮称）刮目（かつもく）子ども塾」創設

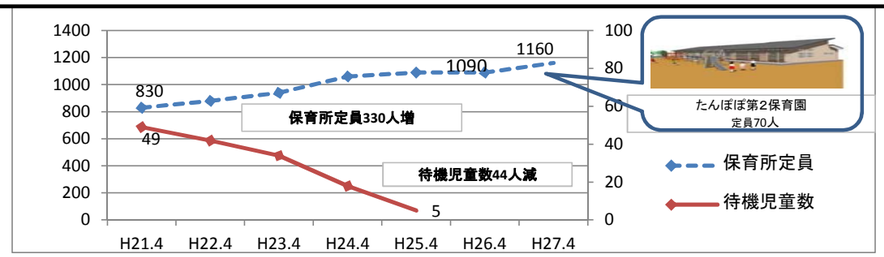
予算 200万

H26の取り組み
◆ふるさと納税を活用し、袋井東地区に学習面だけでなく体験や講話などを通じて、生きる力や豊かな心を育てる「（仮称）刮目子ども塾」を創設する。
〈対象〉 袋井東地区内の小学生（原則）
〈実施場所〉油山寺など
〈活動内容〉算数や国語などの学習、体験や講話など
〈実施主体〉地域の団体（委託）
〈講師等〉 地域の人材など
〈活動日〉 週1回程度

3 たんぽぽ第2保育園新設事業

予算 9,643万

H26の取り組み
◆平成27年4月開園に向け、新設認可保育所（たんぽぽ第2保育園）の施設整備支援を行う。既存の認可保育所は12園あり、たんぽぽ第2保育園の 開園により13園に、定員は1,090名から1,160名に増える。（70名増）
〇たんぽぽ第2保育園･･･定員70名（0歳児9人 1歳児12名 2歳児12名 3歳児12名 4･5歳児25名）



4 子ども・子育て支援事業計画策定

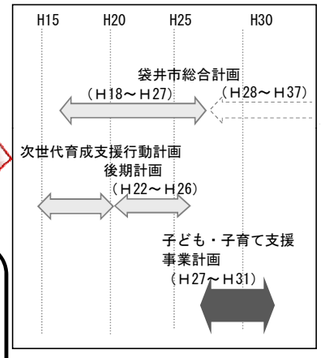
予算 260万円

◆子ども・子育て関連3法の目的
・質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供
・保育の量的拡大・確保（待機児童の解消等）

子ども・子育て支援法に基づく基本指針

H26の取り組み（子ども・子育て支援事業計画策定）
〇教育・保育の提供体制（幼稚園・保育所・認定こども園等）の確保方策及び実施時期
〇地域子ども・子育て支援事業の量の見込み・提供体制の確保方策及び実施時期
〇地域子育て支援拠点事業、延長保育事業、一時預かり保育、病児・病後児保育事業
放課後児童クラブ
これらの内容を盛り込んだ、平成27年度から5年間の支援事業計画を策定する。

計画の期間



学 校 → 家 庭 → 地 域

～ 地震・津波 から 命 を 守る　袋井市の取組 ～

平成26年３月に策定する『 袋井市地震・津波対策アクションプログラム2013 』に掲げた**基本目標「人命被害ゼロ」**を達成するため、**主要施策11項目**に基づき、各アクションを計画的に進め、更なる**安全・安心なまちづくり**を推進します。

予算総額　11億1,340万円

《 平成26年度の地震対策の主要事業 》

1　津波避難施設整備事業
命山整備事業（中新田、湊西地区）、湊命山附帯施設整備、東同笠・大野地区命山地質調査

2　一般住宅の地震対策
ブロック塀等耐震改修促進事業、耐震シェルター整備助成事業、住宅耐震補強助成事業費補助事業

3　各種計画の策定
袋井市地域防災計画（原子力災害対策編）に係る「広域避難計画」や「津波防災地域まちづくり推進計画」の策定

4　情報伝達機器整備等
同報無線デジタル化整備事業（実施設計）、災害情報伝達手段の在り方検討、救急無線デジタル無線整備事業

基本目標
人命被害ゼロ

袋井市地震・津波対策アクションプログラム2013

① 津波被害への対策　2億7,010万円
- 津波防災地域づくり推進計画策定事業
- 湊地区命山付帯施設整備事業
- 命山整備事業（中新田、湊西地区）
- 東同笠・大野地区命山地質調査業務

② 液状化被害等への対策　1,030万円
- 液状化被害軽減対策検討会
- 公共下水道マンホール浮上対策実施設計業務

③ 原子力災害への対策　730万円
- 広域避難計画策定事業
- 原子力防災訓練

④ 公共施設の地震対策　2億290万円
- 避難所等落下物防止対策工事
- 避難所等施設停電時電源切替システム整備事業
- 道路橋梁耐震化事業（諸井橋：湊川井線）
- 学校施設ガラス飛散防止工事

⑤ 一般住宅の地震対策　2億650万円
- ブロック塀等耐震改修促進事業
- 耐震シェルター整備助成事業
- わが家の専門家診断
- 既存建築物耐震性向上事業費補助事業
- 木造住宅耐震補強助成事業費補助事業

⑥ 防災施設の整備　1億9,600万円
- 豊沢多目的広場整備事業
- 避難所資機材整備事業
- 災害対策本部・支部等資機材整備事業
- 袋井方面隊第10分団車庫整備事業
- 袋井方面隊第１分団ポンプ車更新事業

⑦ 地域防災力の強化　3,270万円
- 自主防災資機材整備事業補助金
- 自主防防災訓練用消火器詰替助成金
- 地域防災訓練会場型合同訓練（袋井北地区）
- 避難所宿泊訓練（笠原地区）

⑧ 医療救護の対策　490万円
- 救護所医療資機材整備事業（EM-5、救急箱等）
- 医療救護計画の見直し
- 救護所の再編成
- 救護所従事者研修会兼地域医療救護研修会

⑨ 広報啓発と情報伝達の迅速化　3,400万円
- デジタル同報無線整備事業（実施設計）
- デジタル防災通信システムＦＡＸ整備事業
- 防災ガイドブック・防災マップ作成・配布

⑩ ライフラインの対策　1億4,440万円
- 上水道老朽管更新事業
- 上水道基幹施設耐震化事業
- 上水道緊急時対応システム整備事業

⑪ 復旧・復興への対策　430万円
- 防災交流都市「岩沼市」との防災関係情報交換
- 防災訓練

「自らの地域は 自らが創る」
コミュニティセンターモデル事業

事業概要

地域の創意工夫による「魅力ある地域づくり」に向け、地域の拠点施設の運営を検証していくため、次の地区で地域づくりの「組織」や「担当職員」を設置するモデル事業を実施します。
①平成26年４月にコミュニティセンター「豊沢ふれあい会館」が開設する豊沢地区
②様々な地域づくりや地域課題の解決に向けて取り組んでいる三川地区及び浅羽東地区

予算額

◇豊沢地区	７，３９０千円
◇三川地区	１，０７２千円
◇浅羽東地区	６３０千円
（合計）	（９，０９２千円）

経過・背景

豊沢ふれあい会館

まちづくり協議会を設置し、地域づくり活動に加え学習活動も行う初の施設として、26年4月に開館する。

ふれあい会館の運営や職員の配置、まちづくり協議会活動そのものを、公民館のコミュニティセンター化に向けたモデル事業としてとらえ、望ましい姿を目指して改善を重ねる。

市内の13公民館

生涯学習機能に加え、コミュニティ事業が増加し、その対応が求められている。

公民館のあり方
（最終報告・H23）
公民館は、学びの場であるとともに、人づくり、地域づくりの拠点として、さらに機能が高まる具体的な仕組みづくりに向けて取り組む。

モデル事業の実施

公民館のコミュニティセンター化に向けた検討に反映していく。

豊沢地区

新設されるコミュニティセンター「豊沢ふれあい会館」

豊沢ふれあい会館を活動拠点とする
（仮称）豊沢地区まちづくり協議会

相談役	常任委員会（役員会）	専門部	専門部を構成する団体・組織・役員
会長	会長・副会長 各種団体の代表者 事務局 15人以内	・総務部 ・自主連合防災部 ・少年部 ・高齢者部 ・防犯部 ・交通安全部 ・体育部 ・青少年健全育成部 ・地域福祉推進部 など	・自治会 ・自主防災隊 ・子供会 ・老人クラブ ・地区安全会議 ・交通安全会 ・スポーツ協会 ・PTA ・民生委員 ・消防団 等
副会長			
会計			
監事			

◇施設の維持管理費　４，４０８千円
光熱水費、浄化槽管理等
◇地域自らによる地域づくり活動
運営委託費等　２，９８２千円
【例】・地域住民の絆を深める「ふれあいウオーキング」
・地域資源を活用した「地域と産業の活性化研究」

三川・浅羽東地区

今後予測される地域づくり活動の拡大・充実に向けて新たに地域づくりの担当職員を配置する。

公民館の活動イメージ

生涯学習事業	コミュニティ事業	その他の事業
●学級の企画運営 ●講座の企画運営	●これまで実施してきたコミュニティ事業	●貸館事業 ●団体育成 ●地域団体との

◇三川地区　1，072千円
・地域協働バス運行事業
・（仮称）三川公園運営準備事業
・高齢者の住みやすい地域研究事業　など

◇浅羽東地区　630千円
・地域協働バス運行事業
・高齢者の居場所づくり事業　など

職員の増員

公民館の活動イメージ　（配置後）

生涯学習事業	コミュニティ事業	その他の事業
●学級の企画運営 ●講座の企画運営	●これまで実施してきたコミュニティ事業の充実 ●新たに取り組む地域づくり活動 ●他の事業との連携	●貸館事業 ●団体育成 ●地域団体との

高品質農産物の海外輸出とブランド化戦略による産地の活性化

〈事業の概要〉
袋井市が誇る基幹作物である「温室メロン」、「お茶」の新たな販路拡大に向けて、農業者団体等と一体となって海外輸出を推進する。併せて、「お米」を含めた基幹3大作物のさらなる知名度、信用力の向上を目指して、各種販売促進活動を展開するとともに、高品質農産物の生産・販売体制の充実を図る。

〈予算額〉

6次産業化推進事業	5，560千円
農産物のブランド化促進事業	7，818千円

〈事業説明〉

6次産業化の推進

国の「攻めの農林水産業（成長戦略）」では、2020年までに海外輸出を倍増する計画！メロンとお茶の新たな販路（海外）の開拓を中心に６次産業化を推進します。

農産物のブランド化促進事業

安心・安全・品質で勝負！
特徴（付加価値）ある農産物で、消費者に選ばれる産地づくりを目指します。

温室メロン

トップofメロン 静岡クラウン

拡充 ◎ **台湾開催「日本の観光・物産博2014」への出展**

・台北駅構内でのPR活動、現地市場調査
・商社、百貨店、大手スーパー担当者との商談会
・現存輸出ルート(例：大阪市場→仲買い商→台湾)の拡大

◎ **市場流通に重きを置いた中での、新たな直販需要の掘り起こし**

◎ **規格外メロンを活用した加工品の開発支援**

拡充 ◎ **クラウンメロン品評会in静岡市の協働開催（11月）**

・品評会招待者へのブランド力のPR
・市街地で開催する大試食会での県民への周知
・マスコミ関係者への売り込み

◎ **クラウンメロン振興協議会への活動支援**
（市場等と連携した販促活動、各種イベントへの出店協力など）

◎ **市政10周年記念事業に向けた産地間調整**
（メロン産地間のネットワーク化に向けた調査研究）

お　茶

味と香りのふくろい茶

拡充 ◎ **ロシア向け静岡茶輸出プロジェクトの拡大**

・ウラジオストク(H25)に加え、モスクワへの販売網の拡大支援
・モスクワでの市場調査
・様々なお茶、及びお茶関連商品の試験的輸出の検討

◎ **白茶、黒茶、紅茶など、市民ニーズにあった商品開発支援**

◎ **お茶農家の直販体制の強化支援（お茶の駅、イベント参加）**

◎ **茶振興協議会と連携した「きら香」の販促拡大**

・袋井市独自品種「きら香」の生産拡大に向けた計画づくり
・「きら香」の販売店舗の拡大（各種商談会への出店）
・ふくろい春のお茶まつり、T-1グランプリの開催内容の充実

◎ **袋井茶文化促進会と協働した「お茶文化」の普及**
（お茶料理など、お茶の楽しみ方の普及による産地のイメージUP）

◎ **白茶、黒茶が作用する健康効果の実証実験への協力**
（「お茶」を活かした日本一健康文化都市づくりによる産地PR）

◎ **全国茶品評会などへの出品に向けた支援**

その他(すべての農産物対象)

◎ **袋井市６次産業化促進支援事業費補助金の交付**

お　米

遠州の穀倉地帯で育つ「袋井米」

拡充 ◎ **袋井ブランド米開発販売推進協議会との連携による「ふくのいち」の生産向上と販促ＰＲ**

・袋井産新品種「ふくのいち」の栽培体制の確立
・品種登録記念イベントの開催（10月予定）
・お米日本一コンテストin静岡などへの出品に向けた支援

新規 ◎ **袋井産米の地産地消（県内）に向けた取組み**

※県内で消費されるお米の約6割は県外産米であることを鑑み、「ふくろい米」共通ブランドの構築と販促強化に向けた調査研究を行うとともに、PR活動を行う。

個性が光る農業の実践

袋井駅南まちづくり　未来へつなぐ魅力あるまちへ「生涯にわたる健康生活・歩いて楽しいまち」

［事業の概要］

・袋井駅南北自由通路等新設事業については、平成26年度当初は、前年度に引き続き外装工事と内装工事を行い、駅南地区で進めている南口駅前広場の工事と合わせて、秋頃の供用開始目標に事業を進めていく。

・袋井駅周辺をモデルに”まちなか”を楽しく歩くための環境づくりと都市基盤整備に向けた計画を策定していく。

・袋井駅南都市拠点土地区画整理事業は、道水路の整備が不十分なまま市街化が進み、地震や火災など防災面に大きな課題を抱えている約8．7haの当地区において、南北自由通路、橋上駅舎及び駅南口広場の整備にあわせて、土地区画整理事業により、都市計画道路をはじめ区画道路、公園、水路等の公共施設の整備改善を図り、市の顔としてふさわしい都市拠点としての魅力ある地区とすることを目的に、本年度の事業化を目指す。

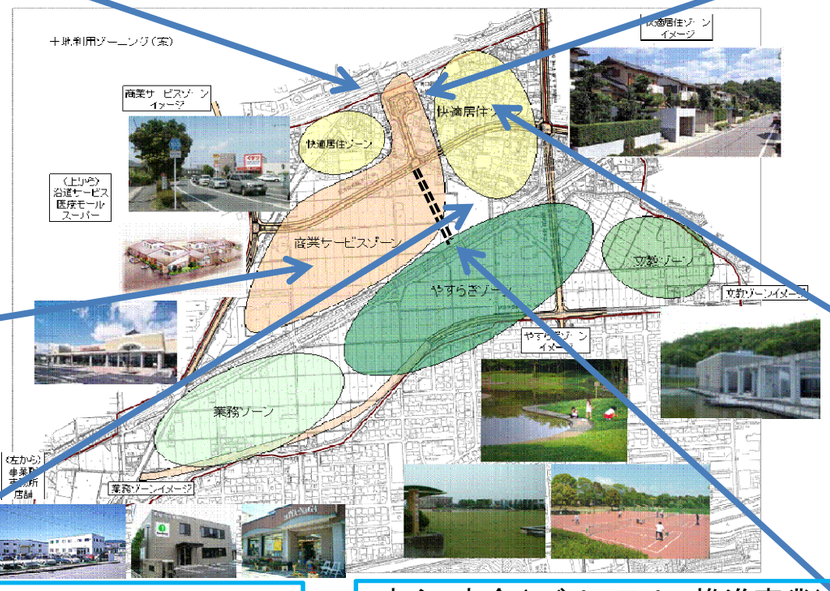
予算額

・袋井駅南北自由通路等新設事業　130，033千円
・袋井駅南口広場整備事業　150，000千円
・袋井駅南都市拠点土地区画整理事業　8，000千円

袋井駅南まちづくり計画

『にぎわいとうるおいのある健康的な都市空間の創出』

市の顔となる玄関口にふさわしいにぎわいの充実を図るとともに、うるおいのある良好な居住環境の形成、また、生涯にわたる健康生活のための魅力的な都市環境の整備を進めていく。



顔づくり・交通・連携（自由通路及び橋上駅舎）

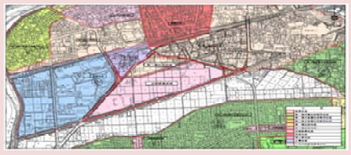
◇　総事業費　約31億円、南北自由通路：延長約90m、幅員6m、ｴｽｶﾚｰﾀｰ4基、ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ2基、橋上駅舎：ｴｽｶﾚｰﾀｰ2基、ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ1基

顔づくり（駅前広場整備）

◇　広場面積3,800㎡、交通空間面積1,720㎡（一般停車場3台、身障者停車場1台、バスバース2台、タクシーバース3台、タクシー待機場6台）、環境空間面積2,080㎡、シェルター113m、照明灯等、総工事費3億円

にぎわいの充実（用途地域・地区計画）

用途地域・地区計画の設定により、適正な土地利用を誘導する。商業サービスゾーンには、日用品、飲食、娯楽等を中心とする商業施設やサービス機能を配置する。



うるおい（区画整理事業）

◇ 施行面積　8.7ha、施行期間　平成26年度～平成40年度、総事業費　57.6億円、公共施設　道路築造　L＝2,584m、公園整備　A＝2,800㎡、水路築造A＝3,076㎡、組合員数171名、減歩率25.1%

安心・安全（治水対策）

市民の安心安全を目標に、浸水被害の軽減を図る。

・田端東調整池の拡大
・開発区域内の雨水貯留
・高尾放水路の整備

うるおい（景観形成事業）

都市の玄関口にふさわしい美しい街並みの形成

・緑化や無電柱化に取り組みます。

安心・安全（ バリアフリー推進事業）

高齢者や障害者をはじめとした全ての人のくらしやまちづくりの実現

・段差解消、視覚障害者誘導ブロック等の設置

健康（歩いて楽しいまちなかプロジェクト）（再掲）

袋井駅周辺をモデルに「歩く」を核とした健康文化の形成と「歩く」視点から見た都市基盤や自然環境の整備を図ることにより、市民の健康長寿と”まちなか”の活性化を目指す。